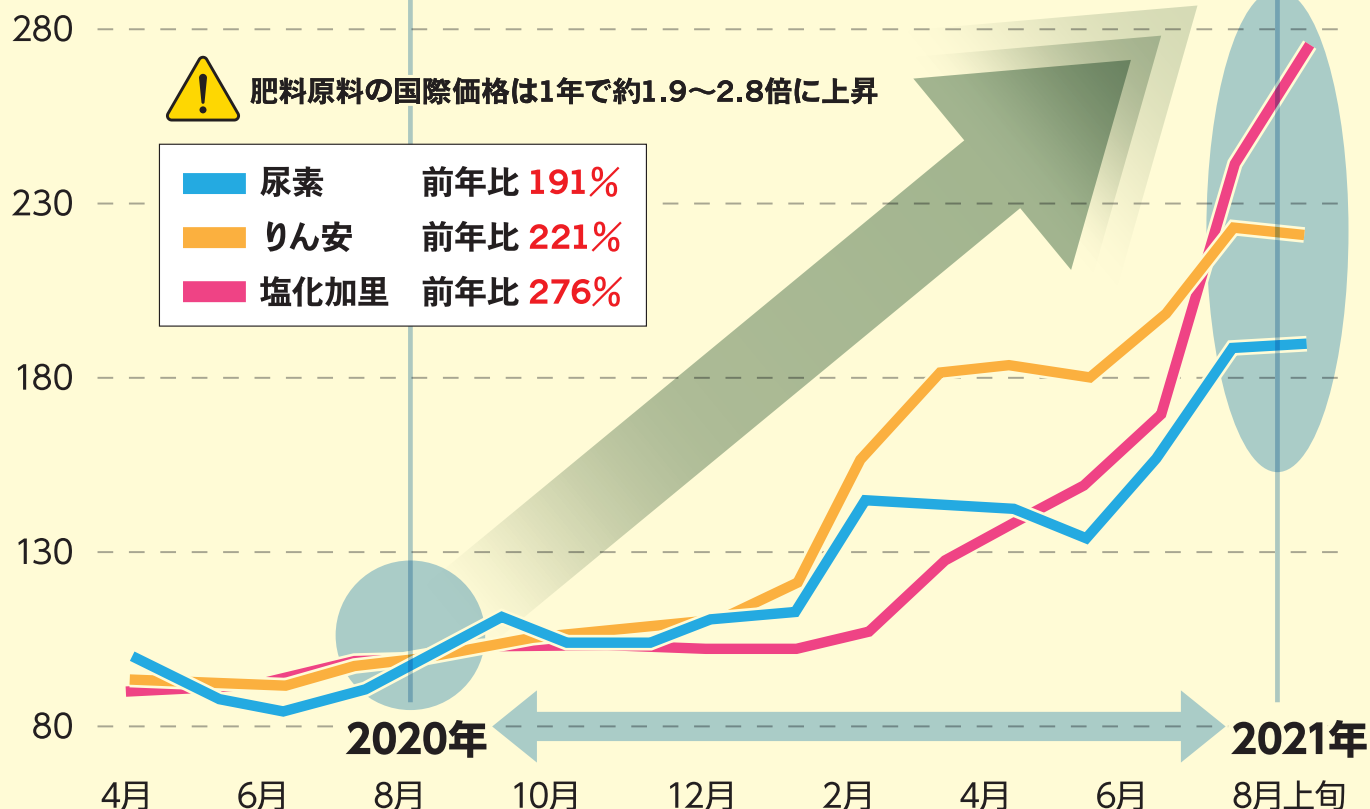


海外情勢の影響により、国内の肥料価格が値上がりしています

肥料原料の国際価格

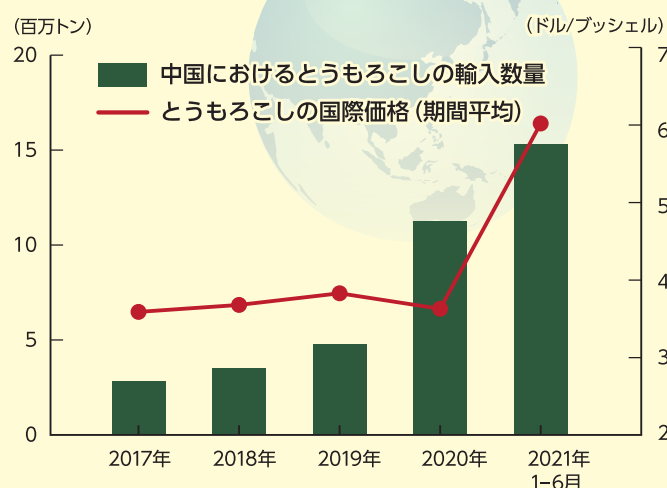
指数(2020年8月=100)



POINT
01

急激な穀物需要の上昇などから肥料の需要が高まっており、世界的に肥料原料の価格が大幅に上昇しています。

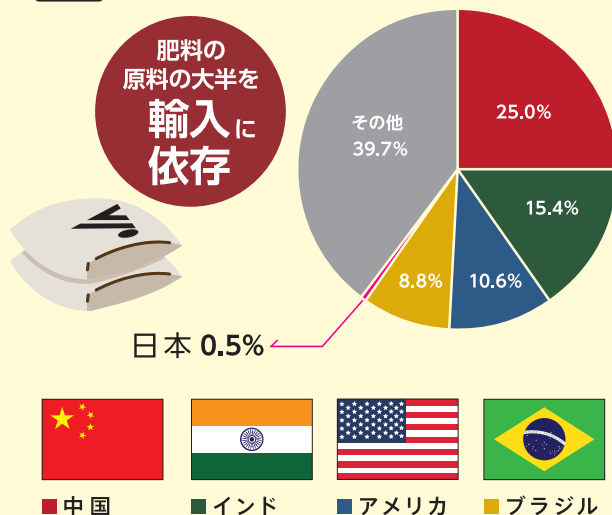
! とうもろこしの国際価格は1年で1.5倍以上



POINT
02

日本は肥料の原料の大半を輸入に依存しているものの、シェアは世界の0.5%に過ぎないため、輸入価格は海外の動向の影響を強く受けます。

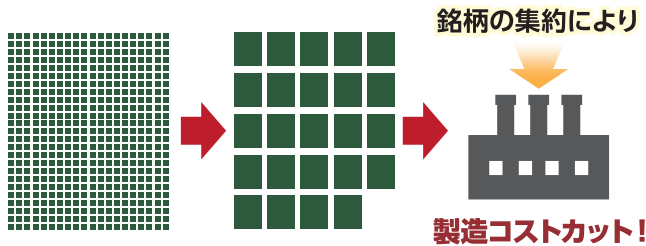
! 日本の肥料消費量は世界の0.5%



肥料の銘柄集約・ 共同購入運動の強化

化成肥料の予約積み上げと銘柄集約に基づく取り組みを通じて、概ね1割～3割の価格引き下げを実現しました。

JAの
化成肥料を
ご利用
ください



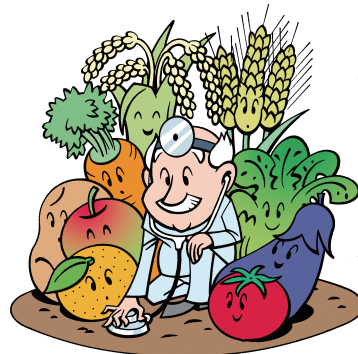
550以上の銘柄を24銘柄に集約!

肥料価格1～3割引き下げ!

土壌診断に基づく 適正施肥の推進強化

広域土壌分析センター(全国9箇所)を活用し、土壌分析結果に基づいた適正施肥を推進しています。

ご利用
ください



営農コストを削減!

JAグループはコスト抑制の 取り組みを強化します

安価な国内地域資源の 利活用

地域資源(堆肥・鶏糞燃焼灰等)を原料とした肥料を推進し、価格抑制、循環型農業に貢献していきます。

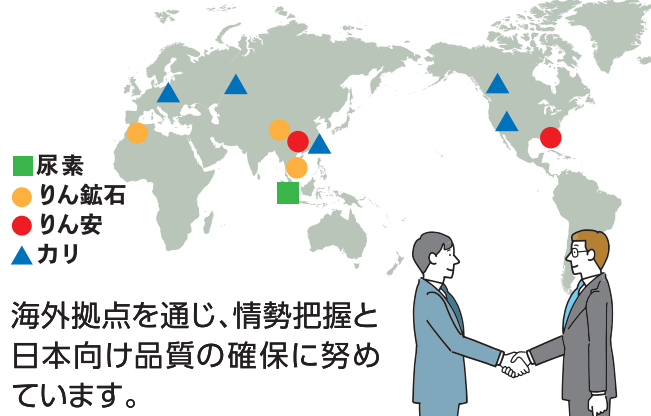
ご利用
ください



肥料価格を抑制!

肥料原料の安定調達に 向けた取組強化

全農では、主要原料を自ら輸入し、海外山元との関係を構築することで、安定調達に取り組んでいます。



海外拠点を通じ、情勢把握と日本向け品質の確保に努めています。

肥料原料の安定調達!